

# 常任委員会の審査から

## 総務企画委員会

### 県北芸術祭開催概要発表会の県内での開催予定は県内メディアなどを対象に今年の早い時期に開催予定

**問** 本年秋に開催予定の茨城県北芸術祭については、昨年九月に都内で開催概要発表会を開催している。県内でも発表会を開催する必要があると考えるが、どうか。

**答** 県内メディアや関係団体などを対象に、本年のできるだけ早い時期に開催概要発表会を開催する予定であり、芸術祭に向けて機運の醸成に努めていく。

**問** 自治体・民間企業などでは昨年十二月からストレスチェックが義務化された。県では職員のメンタルヘルス対策に、どう取り組んでいるのか。

**答** 療養休暇後に「試し出勤」や「慣らし出勤」を実施し、職場復帰を支援している。また、県でも全職場を対象にストレスチェックを行い、予防を図っていく。

(ほかに、私学教育の振興、本県の特性を活かした企業誘致なども質問)



都内での県北芸術祭開催概要発表会の様子(平成27年9月30日)

## 防災環境商工委員会

### 災害などの危機管理で大事なことは災害に関する意識の向上が重要

**問** 豪雨や地震など、災害はいつでも起こり得る。県民を守るための危機管理として、何が大事であると考えるか。

**答** 災害対応に当たる職員の意識向上が重要であり、去る十一月には災害対応の勉強会を設置したところである。また、県民の皆様には、自主防災組織の活動などを通じて、災害はいつでも起こり得ることを理解していただきたい。

**問** このほど「いばらき観光マイスター」を認定するため試験が実施されたところであるが、この制度の目的は。

**答** 観光客に対し、本県観光の魅力を紹介できる人材を育成することが目的である。また、マイスター認定者には、それぞれの職場でもてなし実践の模範となっていたり、期待している。

(ほかに、霞ヶ浦の水質浄化、茨城県観光振興基本計画なども質問)



自主防災組織のリーダーを育成する研修会の様子

## 農林水産委員会

### 茨城港を活用した輸出拡大を図るべきでは将来的には実現を目指したい

**問** TPP大筋合意を受け、今後、茨城港常陸那珂港区を活用した農産物の輸出拡大を図るべきではないか。

**答** 農産物だけで輸出貨物を集めるのは難しいので、工業製品なども含めた取り組みが必要となる。まずは、北関東三県連携の取り組みを積み重ね、土木部などと連携し、将来的には常陸那珂港区からの輸出を目指したい。

**問** 水産分野における地産地消の取り組みとして、学校給食への活用を進めてはどうか。



船便での輸送を想定した農産物のCAコンテナ貯蔵試験

**答** 納入価格などの課題もあるが、幼少から魚を食べていただくことは重要であるため、関係団体と協議・検討するほか、学校の課外授業において漁協の女性部が地魚を使った加工品を提供する取り組みなどを支援していく。

(ほかに、家畜伝染病の予防対策、農業総合センターによる新品種育成なども質問)

## 土木企業委員会

### 県道谷和原筑西線の開通の見通しは平成二十七年内の開通を目指して工事を進めていく

**問** 平成二十七年関東・東北豪雨で被災し、通行止めとなっている県道谷和原筑西線の復旧の見通しと開通の見通しは。

**答** 十月十六日から復旧工事に着手し、その進捗を図ってきた。現在は路盤工事を進めており、年内の開通※を目指している。なお、二車線での復旧に支障となる物件については、早期に解決できるように市に協力しながら進めていく。

**問** 道路の修繕などに対する住民からの要望が多くなっているが、維持管理の予算確保に向けた考え方は。



復旧工事が進められる県道谷和原筑西線(常総市三坂町平成27年12月15日現在)

**答** 路面再生事業の当初予算は年々減少し、今年度は約十

(ほかに、鬼怒川緊急対策プロジェクトの実施方針、東関東自動車道水戸線の用地取得の状況なども質問)

## 保健福祉委員会

### 動物愛護における猫への対策とは猫の適正飼養について幅広く啓発していく

**問** 猫の飼育頭数が犬を上回るとの報道がある中、捕獲・保護された犬については、飼い主への返還や譲渡が進んでいるが、猫に対する県の具体的な対策とは。

**答** 平成二十五年度に動物愛護管理条例を改正し、猫の多頭飼養の届出制度や屋内飼養の努力義務を規定した。また、平成二十七年十月には猫の適正飼養ガイドラインを作成したところであり、幅広く啓発していく。

**問** がんは早期発見、早期治療が大切であるが、本県のがん検診の受診率向上のための取り組みは。

**答** がん予防推進員の養成や企業などと連携した受診勧奨などに取り組むとともに、実施主体の市町村に受診率向上の取り組みを働きかけていく。

(ほかに、こども病院の指定管理者の指定、不眠に対する対応なども質問)



ペットは最後まで責任を持って飼いましょう

## 文教警察委員会

### 教育委員の障害児に関する発言で信頼回復の取り組みは特別支援教育の充実にしっかりと取り組む

**問** 教育委員の障害児に関する発言は、県内外から多くの批判を受け、県のイメージダウンにもつながった。今後、信頼回復にどう取り組むのか。

**答** 学力、豊かな心、体力向上などにさらに取り組むとともに、特別支援教育の充実にも、具体的な形でしっかりと結果を残すよう、これまで以上に教育行政の推進に取り組み、信頼回復に努める。

**問** 平成二十八年五月のG7茨城・つくば科学技術大臣会合開催に向けた警備対策は。



サミットに向けた訓練の様子

**答** 昨年八月に警備対策室を立ち上げたところである。パリにおける同時多発テロなどの情勢を踏まえ、国内外要人の絶対安全確保、行事の円滑な進行の確保、テロの未然防止を基本方針として、県警の総力を挙げて取り組んでいく。

(ほかに、子供のスマホ利用のルールづくり、ニセ電話詐欺対策なども質問)

※【年内の開通】…平成27年12月18日に開通(一部区間は片側交互通行)。